

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.2 令和2年(2020年)7月21日

みんな、頑張っているね！～ご協力に感謝します～

先日皆川養護教諭が、「校長先生、見てください！去年に比べて、こんなに減っています！」と見せてくれたのは、同時期の病気による欠席者数です。昨年度6月は延べ92名、今年は何と26名です！三分の一よりも少なくなっています。

これは以前、七条先生もおっしゃっていたように、子供たちの手洗いの励行が感染症予防に大きな効果を発揮していることを物語っていると考えられます。

地道な努力ですが、自分と、周りの人を守る大切な行為としてこれからも徹底させていきますので、ご家庭でもぜひ継続をお願いいたします。



疫病退散

授業時間の確保について・・・2学期からモジュールを導入します

本校では臨時休業で失われた授業時間を、夏休みの短縮とともに、「モジュール授業」を2学期から導入して補充することを決定しました。これは、15分ずつの授業を3回行ってそれを45分の授業1回分に数えて授業時間を作っていく方法です。教科を国語に限定し、各学年の指導計画を再度作り直しました。

このことによって、20時間ほどを生み出すことができます。今まで朝のステップタイムや朝読書に充てていた時間枠をいくつかこの授業枠に変更しますので、子供たちの登校時刻は変わりません。ただ、今までだと一日のスタートを切るための準備をする時間が学習の時間になりますので、朝、8時15分には教室に入れるよう、お子さんを送り出してくださいませようをお願いいたします。なお、開門は8時ですので、密を避けてできれば8時過ぎから10分過ぎに登校させてください。(現在でも多くのお子さんはこの時間帯に登校しています)

「あゆみ」について

本年度から、平成29年に改訂・告示された新学習指導要領に基づいたカリキュラムが実施されています。文部科学省は、今回の改訂(おおよそ10年ごとに行われます)に、子供たちには自ら課題を見付け、学び考え、判断して行動し、それぞれの思い描く幸せを実現してほしいという願いを込めたと説明しています。具体的には、子供たちに必要な力を3つ定め、それらをバランスよく身に付けさせるよう、指導することを学校に求めています。その3つの力が

- ①実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能
- ②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など
- ③学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など

です。したがって、学校のカリキュラムもその力を育成するように作られ、「あゆみ」の評価も、全ての教科をこの三本柱で行います。即ち①「知識・技能」

②「思考・判断・表現」③「主体的に学習に取り組む態度」です。詳細は来週配布する文書をご覧ください。なお、1年生ですが例年は1学期のみ2段階で評価し、2・3学期は3段階評価を行っていましたが、今回、市内の小学校全校で協議し、年間を通じ2段階で評価することに統一しました。

子供たちにはいつも、『あゆみ』は担任の先生からおうちの人へ、皆さんの頑張っていることを知らせる大事なお手紙です。とくに所見欄はぜひ、おうちの人と一緒に読んで、2学期の目標を考えましょう。」と話しています。今学期は短い時間でしたが、担任は子供たちと真摯に向かい合い、一人一人の良さ、更に力を伸ばすためのアドバイスなどを所見にしたためています。ぜひお子さんを認め励ます材料にさせていただきようをお願いいたします。



夏季休業日中の教員の勤務について

国立市教育委員会は、夏季休業期間中の8月6日(木)から8月13日(木)までの平日5日間を、教員の休暇取得促進週間と定めています。そのためこの5日間は、通常の土・日曜日と同様、警備員が午前・午後と配置されます。原則教員は出勤しませんので、急を要する連絡以外は、この期間を避けていただきますよう、お願いいたします。